

ゆい組だより

2023年 6月

梅雨入りとなり、暑い日が続くようになりました。汗をかきながらも、ゆい組の子ども達は毎日元気いっぱい楽しんで過ごしています。今、ゆい組では先月のいしかわ動物園への親子遠足がきっかけとなり、「動物園ごっこ」が盛り上がっています。朝の自由あそびに保育教諭が動物の足あとのイラストを設定しました。すると、「これ誰の足あと？」と興味津々に言い、それから「道作りたい」など、どんどんイメージが広がっていきました。想像力を膨らませ、「こんなのがあったらいいなあ」「こういうの作りたい！」と動物園をベースに楽しい想いがいっばいに広げて遊んでいます。今回の通信では、そんな保育室での動物園ごっこの様子を紹介したいと思います。



「道を作りたい！」という子ども達のアイデアに応えたいと思い、バランス平均台を用意すると、友だちと一緒にイメージを膨らませ、あっという間に素敵な道が完成！



保育教諭が最初に設定した動物の足あとです。プラポイントにイラストが貼りつけてあります。

イメージを膨らませ、お友だちと楽しんで遊んでいるうちに、自分達の家を作って遊ぶ姿も見られるようになりました。お友だちと家を作って遊んでいると、「壁があるといい！」「屋根もほしい！」と言う声も聞かれるようになりました。そこで、「どうやって作ろうか？」と尋ねると、「遊戯室の積み木を使いたい」とのこと。じゃあ、みんなで取りに行こうよということになりました。動物園の中には、トイレや病院も作られました。

よいしょ！ よいしょ！



きりん
「きょうりゅうびょういん」

「もりのどうぶつ」



「動物園の看板があるといいよ」というアイデアで、看板も作って、みんなで色も塗りました！



遊戯室からカラー積み木を自分達で運びます。作りたいものをイメージして、どんな形が必要なのか、どれくらい要るのか考えていました。

動物園の道やお家が作られて、病院も出来上がって楽しんでいると、子ども達のイメージは動物園の枠を超えて一気に大きく広がりました。すると、子ども達から「高いものを作りたい！」という声があがりました。家よりも高いタワーを作りたくなったようでした。動物園の道も延伸され、保育室いっぱいになり、高層建築の為にクレーンも作って楽しむ姿がみられました。



動物園の道は保育室いっぱいに延びました。



「クレーン作ったよ！」



「高いものを作りたい」という気持ちが東京タワーになりました。



病院には恐竜の患者さんがきて、診てもらっています。



動物園の横では「魔法の使えるお姫さま」の集まりがありました。

親子遠足では、お忙しいところご参加くださり、ありがとうございました。目を輝かせて気になった動物をじっくりと観察したり、お弁当を食べて、親子で楽しいひと時を過ごすことができたと思います。

この親子遠足の動物園がきっかけとなった動物園ごっこですが、一人ひとりの成長を感じることができました。遠足前の「お弁当ランチ」では、自分で詰めたお弁当を動物園に見立てた部屋で動物園を想像しながら楽しみました。保育教諭が用意した動物の足あとをきっかけに、作りたい動物園をイメージし身近なものを利用して、お友だちと相談しながら作り上げて楽しむなど、お友だちとの関りも広がってきました。カラー積み木を利用するときにも、作りたいものを具体的にイメージし、必要なものをしっかり考えて選び、友達とのやりとりの中でイメージはどんどん膨らんでいき、動物園をベースにした町のように展開していきました。

日常生活をもとに、「トイレや病院などがあるといい」というアイデアにはとても感心しました。

子ども達のイメージがいっぱいに詰まった動物園ごっこが、これからも大きく発展していったらいいな、と思っています。



おねがい

- トイレの使用後にハンカチを使用しますが、必ず名前を書いてください。
- まもなくプール開きとなります。水着、タオル、着替えなどの記名もよろしくお願いします。